

## 浅野、吉良、大石の

### 家系について

八幡 昭海

浅野家、清和源氏、土岐氏の支流

土岐光衡の子光時が美濃国土岐郡浅野村（現土岐市）に住んで浅野氏と称しその子孫としている。しかし浅野家の祖、浅野長政の父親が織田信長に仕える以前のこととはよくわかりません。尾張の国にも浅野の

地名があり、「愛知県丹羽郡扶桑町」美濃の名家土岐氏の支流というよりは、尾張浅野に住んだ小土豪の方が説得力があります。何れにせよ浅野長政は豊臣秀吉に仕えて五奉行に迄出世、子孫は広島藩主となりました。赤穂浅野家は広島浅野家の分家にあたり、長矩は三代目です。長直―長友―長矩

吉良家。正真正銘の清和源氏の一族

誇るプライドの高い吉良との対決

足利義氏の子供が三河国幡豆郡

と云うパターンが見られます。）

吉良荘（愛知県西尾市）の地頭とな

って、吉良氏を名乗り二人の子供は

大石家

それぞれ、東条吉良氏、西条吉良氏

藤原北家秀郷流で、近江国栗田郡

と名乗って、ともに江戸時代は高家

大石荘（滋賀県大津市）発祥です。

となっている。東条吉良氏の直系の

本家と中家、東家新家の三つの分家

子孫にあたるのが吉良上野介です。

によりなり、内蔵助は東家の子孫に

奥州吉良氏は江戸時代蒔田を名字

あたります。一五代將軍足利義昭が

としていた。

織田信長と争ったとき、大石氏は義

（土豪上がりではあるが、資産に恵

昭側についたため信長に滅ぼされ

まれた浅野長矩と血統の正しさを

て没落してしまいましたが、大石良勝

の時に江戸に出て、当時笠間藩主だった浅野家に仕え家老に迄出世、以後代々家老職を継いでいます。

## 大高氏

出羽の戦国大名秋田氏の一族と伝えその出自は安倍氏。秋田県には今も大高姓が多くあります。

## 武林氏

本性は孟氏で豊臣秀吉の朝鮮出兵の際捕虜となった。孟二寛は医術

の心得があるため、日本で医師となり武林唯七はその子孫です。日本では渡辺を名字にしていたのですが、唯七の時に先祖の出身地中国武林の地名をとって武林に改姓していました。

その他の義士の家は家柄の低い人が多く家系ははっきりしません。藤原氏系二六人で一番多く、源氏系一人、不明が三人となっています。

# 浅野家家系図

